

特集展示

「札幌国際芸術祭 2024」連携事業



THE SNOWFLAKES

2023. 12.9 sat. – 2024. 3.24 sun.

【図版】〈JAM〉2022年（「飛生芸術祭 2022」展示風景）会場：飛生アートコミュニティ | 北海道白老町 [参考作品] photo by Ryoichi Kawajiri

苫小牧市美術博物館 [企画展示室（第3展示室）・中庭展示スペース]

主催 苫小牧市美術博物館

協力 飛生の森づくりプロジェクト

開館時間 9:30～17:00（入場は閉館の30分前まで）

休館日 月曜日（ただし1/8、2/12は開館、その翌平日が休館）、年末年始（12/29～1/3）

観覧料 一般 300（240）円、高大生 200円（140）円、中学生以下無料

※（ ）内は10名以上の団体料金です。 ※併せて同時開催の企画展、常設展示もご覧いただけます。
※年間観覧券による観覧が可能です。 ※観覧料の免除規定についてはお問い合わせください。



〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号

TEL 0144-35-2550 FAX 0144-34-0408

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan>

www.facebook.com/tomakomai.museum | [X @tomakomai_amyu](https://twitter.com/tomakomai_amyu)

苫小牧市美術博物館

TOMAKOMAI CITY MUSEUM [愛称：あみゅー]



北海道胆振地方の地域性に根付いた表現活動に焦点を当てる本展では、当館の企画展示室（第3展示室）と中庭展示の双方を会場に、発案者の奈良美智と飛生アートコミュニティ（北海道白老町）の国松希根太、小助川裕康、奥山三彩からなる4人組のアーティスト・コレクティブ「THE SNOWFLAKES」（2020～）のインスタレーションを紹介します。

海岸に打ち寄せられた漂着物を素材とし、それらを展示空間に構成していく彼らの制作スタイルは、既製品や廃材を寄せ集めて作品を制作するジャンク・アート*にも通ずるものがあり、大量生産がもたらす大量消費ないし人間の活動が自然環境に与える影響といった視点が垣間見られます。翻って、その創作活動の根底には、漂着物をここではない場所から流れ着いてきた「モノの集積」として援用し、最終的にその積み重ねが作品へと結晶化するという自由な発想があるようにも映ります。

流木や石などの自然物やプラスチックなどの廃材の発見、そして、展示空間にオブジェを配置する際の即興性といったプロセスには、主体的な創造性に縛られない偶然の要素も介在しており、そのことが未知の生命体を彷彿とさせる造形や、水流を彷彿とさせる空間構成へとつながっているようです。

苫小牧の海岸で収集した漂着物が追加される中庭展示スペースにおいては、電飾にアーティスト兼デザイナーの石川大峰、音響デザインにマルチスピーカーによる音響設計を手がけるWHITELIGHTが加わり、光と音の効果が交差する空間が形成されます。

*ジャンク・アート [Junk Art]

廃棄された既製品の断片を多数寄せ集めることによって作り出される美術作品のこと。1950年代以降、近代化に伴う物質の氾濫に対する批評精神、工業生産品の美的再利用、物自体の直接的な提示に基づく人間と物質、そして環境との関係に対する考察など、様々な視座に基づく作品が制作されてきた。

THE SNOWFLAKES

特集展示 —Special Feature— 2023. 12. 9 sat. — 2024. 3. 24 sun.

「THE SNOWFLAKES」プロフィール

2020年に飛生アートコミュニティ（北海道白老町）で結成されたアーティストコレクティブ。メンバーは発案者の奈良美智、飛生アートコミュニティの国松希根太、小助川裕康、奥山三彩の4人により構成される。「飛生芸術祭 2020」にて海の漂着物を組み合わせたインスタレーションを発表。翌21年、同芸術祭にて、彼らの創作活動を追ったドキュメンタリー作品《THE SNOWFLAKES》（制作：高張直樹）を公開。同年、沖縄で開催された「やんばるアートフェスティバル 2021-2022」では、「雪のない場所に雪を届ける」という当初のコンセプトに基づき、南北の海の漂着物を融合した作品を発表。コロナ禍による延期を経て、結成の端緒となった「Art and Peace: Let Us Begin Again from Zero o' Clock」(2022, Ulsan Art Museum | 韓国)に参加。「飛生芸術祭 2022」では、白老の海岸の漂着物で構成した最新作《jam》を発表した。

同時期開催

・企画展「昔の道具～水と暮らし～」

2023年12月9日【土】～2024年1月28日【日】

・企画展「鹿毛正三 —アトリエより—」

2024年2月10日【土】～3月24日【日】

◆本展に関する最新情報については、直接お問い合わせいただくか、当館公式HPおよびSNSをご確認ください。

【図版】「Art and Peace: Let Us Begin Again from Zero o' Clock」(2022年)展示風景 会場：Ulsan Art Museum | 韓国 [参考作品] photo by : Lim Jang Hwal



アクセス

●バス 苫小牧駅南口より、のりば①から「24番」「30番」「札幌駅前」前、「郊外線（静内・平取線）」、のりば②から「21番」、のりば③から「13番」「14番」に乗り、「出光カルチャーパーク」で下車（所要時間約5分、料金230円）※下車後徒歩約5分

●自家用車 国道276号（支笏湖通）と国道36号の交差点（「苫小牧信用金庫中野支店」かど）を港方向へ曲がり、交差点の次の信号を右折。出光カルチャーパーク内に駐車場（料金無料、約50台駐車可）があります。最寄りのICに「苫小牧中央IC」があります。

TOMAKOMAI CITY MUSEUM [愛称：あみゅー]

苫小牧市美術博物館

〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号

Tel : 0144-35-2550 / Fax : 0144-34-0408

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan>